

令和7年第12回定例会

江東区教育委員会会議録

令和7年12月25日(木)

江東区教育委員会

## 令和7年第12回江東区教育委員会定例会会議録

- 1 開会年月日 令和7年12月25日（木）午後2時00分
- 2 閉会年月日 令和7年12月25日（木）午後2時12分
- 3 開会場所 江東区役所
- 4 出席委員 本多健一朗（教育長）、鈴木清人、浅野美智子、大久保善子
- 5 出席職員 青柳教育委員会事務局次長、  
西尾教育委員会事務局参事 学校施設課長事務取扱（整備担当課長事務取扱）、  
梅村教育委員会事務局参事 深川図書館長事務取扱、  
瀧澤庶務課長、瀧川学務課長、  
金指指導室長（教育センター連絡調整担当課長兼務）、  
木内教育支援課長（教育センター所長兼務）、大田地域教育課長、  
吉木江東図書館長

### 6 報告事項

- (1) 令和7年度文部科学大臣教育者表彰について ほか

### 7 審議概要

本多教育長 それでは、ただいまより令和7年第12回江東区教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議に安部委員より欠席の届出がありましたので、御報告いたします。また、理事者である西尾学校施設課長が公務のため欠席となります。御了承ください。

本日の会議録署名委員を御指名いたします。大久保委員、鈴木委員にお願いいたします。

それでは、報告事項に入ります。

報告事項1 令和7年度文部科学大臣教育者表彰についてを説明願います。

庶務課長。

瀧澤庶務課長 それでは、令和7年度文部科学大臣教育者表彰について御報告をいたします。資料1をお願いいたします。

文部科学省では、毎年、学校教育の振興に関しまして、特に功績顕著な教育者の功績をたたえ、文部科学大臣表彰を行っております。今年度、江東区より被表彰者が決定いたしましたので、御報告を申し上げます。

お名前はこちらに記載のとおり、東陽小学校校長、佐藤友信校長でございます。

対象につきましては、こちらは文部科学大臣からの表彰ということで、全国の国立学校、公立学校、私立学校の校長、園長または教員の功績顕著な者となっております。

今回、受賞の具体的な内容となりました主な功績につきましては、こちらに記載のとおりでございますので、御参照いただければと存じます。

なお、表彰式につきましては、令和7年12月3日に文部科学省にて既に表彰式が行われたところでございますので、御報告いたします。

報告は以上でございます。よろしく願いいたします。

本多教育長 本件について質疑願います。

よろしいでしょうか。

では、本報告を終了いたします。

次に、報告事項2 令和7年度東京都教育委員会職員表彰についてを説明願います。

庶務課長。

瀧澤庶務課長 それでは、令和7年度東京都教育委員会職員表彰について御説明をいたします。資料2をお願いいたします。

こちらは東京都教育委員会での表彰となります。都の教育の発展、学術、文化の振興に貢献し、その功績が顕著かつ勤務成績の優秀な職員及び優れた教育実践活動・教育研究活動を行っている学校・グループの功労をたたえ、表彰しておるものでございます。

今回、江東区より下記表彰者が決定いたしましたので、御報告をいたします。

初めに、個人表彰でございます。都在職10年以上で管理職にある者といたしまして1名、豊洲北小学校統括校長の佐藤勝行校長でございます。また、(2)といたしまして、都在職10年以上で管理職を除く45歳以上の者といたしまして、豊洲西小学校主幹教諭の正木綾教諭、また、2ページに進んでいただきまして、個人表彰、立志賞といたしまして、都在職6年未満の者といたしまして、第三亀戸中学校教諭、堀江真太郎教諭がそれぞれ受賞されました。

それぞれ今回受賞の理由となりました功績につきましては、記載のとおりでございますので、御参照いただければと存じます。

なお、表彰式につきましては、令和8年、来年1月19日に予定をされておりますので、御報告いたします。

以上でございます。

本多教育長 本件について質疑願います。

大久保委員。

大久保委員 先生方、皆さん、こどものために頑張っていただいているんだなと思って、とても感謝しています。

堀江真太郎教諭の「笑顔と学びの体験プロジェクト」の学校企画に関わっていたというので、私、近隣の小学校で、この「笑顔と学びの体験プロジェクト」に参加している学校がありまして、そこは大型アートを空間造形アーティストの方を呼んでしていたんですけど、こどもたちもいつも体験できないような大きいパネルに絵の具で物語風に絵を描いて、作っている最中も笑顔でしたが、作り終わってからも自信を持った笑顔でいろいろ説明をしてくれて、先生方もこどもたちも保護者も笑顔になれるプロジェクトだなと思って、こういうものもどんどんこれからも教育委員会、私もですけれども、応援していけたらなと思いました。以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

この「笑顔と学びの体験プロジェクト」の学校企画型について、指導室長から説明願います。

指導室長。

金指指導室長 このプロジェクトのほうは、今、大久保委員からあったようないろいろなチャンネルがあって、そういったアートですとか、あと音楽だとか、スポーツを観戦に行くとか、学校が選ぶものもあれば、こんなことをやりたいというふうに学校が企画するものもいいですよというふうに支援をしていただくような内容になっています。

三亀中さんはちょうど自分の学校の歌を作るというので、これを堀江先生が中心となってやっているものがありまして、ほかの学校でも記念歌を作ったり、そういった芸術で学校で企画したりというものがありまして、そういったものをつないで区としても応援している状況でございます。

以上です。

大久保委員 ありがとうございます。

本多教育長 ありがとうございます。

ぜひまた何かの機会で、「笑顔と学びの体験プロジェクト」を御覧いただければと思っております。

今年度も学校企画型は3校が取り組んでいまして、また成果が報告されるかなというふうに思っております。

以上です。

ほかよろしいでしょうか。

では、本報告を終了いたします。

次に、報告事項3 令和8年度新1・7年生の学校選択制度の抽選結果についてを説明願います。

学務課長。

瀧川学務課長 それでは、資料3を御覧ください。令和8年度の学校選択制度の抽せん結果についての御報告でございます。

資料でございますとおり、小学校については12月10日、それから、中学校については12月9日に抽せん会をこの区役所で行ったところでございます。

まず、1番の小学校でございますが、5つの学校で抽せんの対象となりました。当日は24名の当日当せんというのが出たんですけども、補欠者数ということで、55名が待機をされているという状況になってございます。ちなみに昨年度は6つの学校で抽せんの対象となり、この時点で補欠者数が42名という状況でございました。

2番の中学校でございますけれども、19の学校で85名が当日当せん、これに対して845名が補欠として待機をされるという状況になってございます。こちらも昨年度は19校ということで、学校数は同じです。769名が補欠者数ということでしたので、やはり小学校も中学校も少しだけ補欠者が今年度は多いというような状況になってございます。

今後の予定でございますけれども、3番でございますとおりの日程で、最終繰上げというのを行います。小学校では主に区外転出でありますとか、一部仲よし学級に決まるとかということで人数の変動がございまして、それから、中学校は主には私立中学校への入学というのが決まって、順次繰り上がっていくというようなことで、最終繰上げまで予定しております。

説明は以上です。

本多教育長 本件について質疑願います。

よろしいでしょうか。

また、これは最終的に繰上げが全部決まったら報告をする形になります。よろしく願いいたします。

それでは、本報告を終了いたします。

次に、報告事項4 令和7年度給食保健関係表彰についてを説明願います。

学務課長。

瀧川学務課長 続きまして、資料4を御覧ください。今年度の給食保健分野における表彰をまとめて御報告するものでございます。

表の上から東京都功労者表彰、東京都教育委員会表彰、そして、江東区の区政功労者表彰につきましては、各学校の学校医等について従事年数や実績等に基づき推薦を行い、それぞれの表彰機関の審査を経て決定されたものでございます。

また、下にございますその他の欄、東京都学校歯科医会表彰につきましては、各学校・園における歯科保健の取組や成果が認められた者となっております。

説明は以上です。

本 多 教 育 長 本件について質疑願います。

よろしいでしょうか。

では、本報告を終了いたします。

次に、報告事項5 令和7年度校（園）長・管理職選考等の結果についてを説明願います。

指導室長。

金 指 指 導 室 長 それでは、令和7年度校（園）長・管理職選考等の結果について御報告いたします。

資料5を御覧ください。本年10月の定例会において選考の受験状況については御報告いたしましたが、このたび最終結果が発表となりましたので、御報告をいたします。

まず、幼稚園の結果でございます。今年度、幼稚園園長、副園長選考については、受験者はおりませんでした。

次に、小中学校の結果でございます。

まず、校長の選考結果です。小学校の欄の一番上の段を御覧ください。小学校は33名が受験し、最終合格者は6名で、合格率は18.2%でした。

次に、中学校です。中学校の欄の一番上の段を御覧ください。中学校は5名受験し、最終合格者は1名で、合格率は20%でした。

次に、小中学校の教育管理職候補者選考の結果についてです。主に指導主事となるA選考、主に副校長となるB選考ともに一般と推薦との記載がございます。推薦区分は校長及び教育委員会の推薦を受けて、一次選考である筆記試験が免除となり、二次選考の面接選考のみのものであります。一般は、一次選考、二次選考を受験することとなっております。C選考は年齢50歳以上が対象で、原則合格した次の年度に副校長に昇任となる選考となっております。

それでは、まず小学校です。A選考は推薦区分で5名が受験し、1名が合格しております。B選考は一般区分で1名が受験しましたが、不合格でした。推薦区分で13名が受験し、10名が合格しております。C選考は推薦区分で2名受験し、1名が合格しております。

次に、中学校です。中学校の欄を御覧ください。A選考は推薦区分で1名が受験し、不合格となっております。B選考は推薦区分で7名が受験し、6名合格しております。C選考の受験者はありませんでした。

今後も受験者の確保に努めるとともに、教育管理職の資質能力の向上を図ってまいります。

報告は以上です。

本 多 教 育 長 本件について質疑願います。

よろしいでしょうか。

校長選考の倍率が、小学校が4.2倍で中学校は1.9倍なんですね。小学校の校長選考の倍率が非常に高くなってきているので、なかなか受かりづらいところはあるんですけども、しっかりと今後、受験する副校長先生方に様々な経営力を高めていただいて、しっかりと合格できればいいなというふうに思っております。

それでは、本報告を終了いたします。

以上で、令和7年第12回江東区教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。